

令和8年度 神奈川県アレルギー疾患相談事業 相談・回答一覧

	学校・施設種別	アレルギー疾患名							相談内容	回答
		食物アレルギー	気管支ぜん息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	アレルギー性結膜炎	花粉症	その他		
1	保育所	○							・卵アレルギー解除の目安について 「加熱全卵1個を摂取可能」の場合解除と医師が判断することが多いのですが、当園では給食でかきたま汁の提供があるため、加熱時間が短い卵が提供されることがあります。 そのため、解除の目安を「加熱全卵1個+温泉卵を1～2口摂取する(2回)」としています。 かきたま汁を摂取できれば良いのですが、家庭によって加熱時間が違い、加熱時間が短い卵なのか判断が難しいため、温泉卵とした経緯があります。 給食で提供されるスープに入る卵の量は、温泉卵1～2口程度と考え上記目安としていますが、それで良いのか医師からの見解を聞きたいです。 加熱時間の短い卵でアレルギー症状が出てしまう園児もいるため、加熱時間の短い卵の摂取は解除するうえで必要と考えています。加熱全卵1個も何分茹での加熱全卵など、基準があるのか聞きたいです。 ・アレルギーの除去の解除の目安について 卵・小麦・乳など主要なアレルギー物質の解除の目安(摂取量など)を教えてください。	・食物アレルギーの除去解除は、日常的に摂取する量を症状なく食べられることを確認したうえで検討します。卵は、加熱温度・加熱時間・摂取量などによって症状の出やすさが異なります。温泉卵とかきたま汁では加熱条件が異なるため、加熱全卵1個に加えて、温泉卵を1～2口、2回食べられることは、かきたま汁を提供するための一律の基準とは言えませんが、当施設でも、かきたま汁は摂取できるものの、温泉卵では症状が出る児を経験しています。ただ、原則は主治医の指示によります。加熱全卵について、園での解除に用いる全国一律の何分加熱という基準はありません。 ・日常摂取量の目安として、加熱全卵30～50g（約2/3～1個）、小麦ではゆでうどん100～200gまたは6枚切り食パン1/2～1枚、牛乳100～200mLが挙げられます。ただし、これらは一律の解除基準ではなく、年齢、これまでの症状、調理方法、園での提供量などを踏まえ、個別に判断する必要があります。